

平成 23 年度ホタテガイ採苗情報 (第 7 報)

平成 23 年 7 月 1 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着は多数

< 調査結果の概要 >

- ラーバは県中南部で大型個体が多数出現。
- 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 12.6℃と、例年よりやや低め。
- 試験採苗器の付着稚貝数は県中南部では更に大幅に増加。付着は継続。
- 県北部と中部に投入した採苗器には、多数の稚貝が付着。

< 宮城県北部の状況：稚貝の付着は終盤 (6 月 30 日発行採苗通報) >

- ラーバの出現数は 2~5 個/m²と、減少。
- 試験採苗器の付着稚貝数は 52~211 個/袋 (6 日間) と、減少。

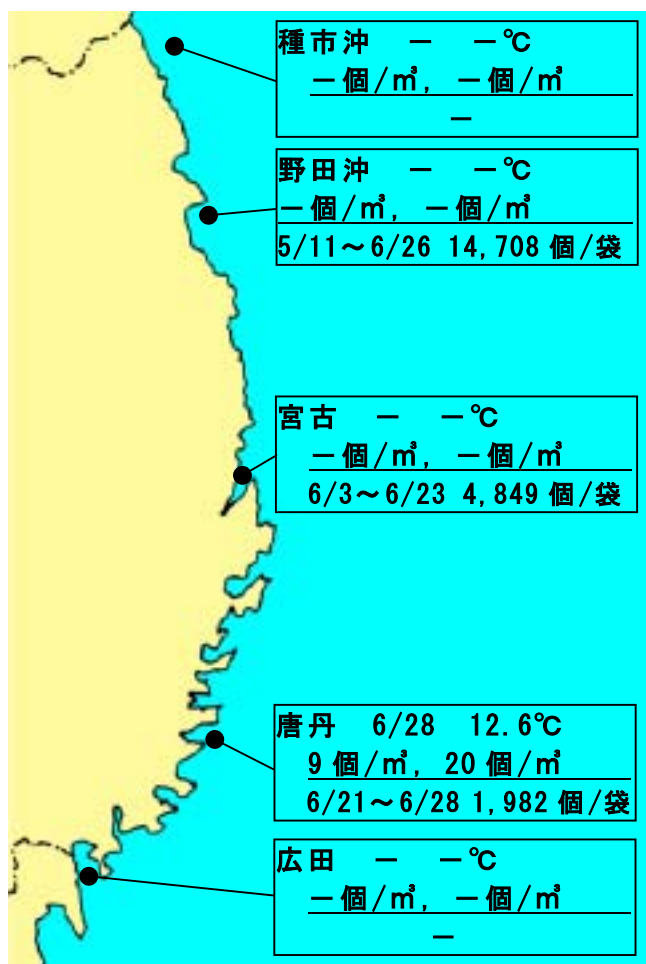


図 1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温	ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	--------	------------------------	-----------	-------

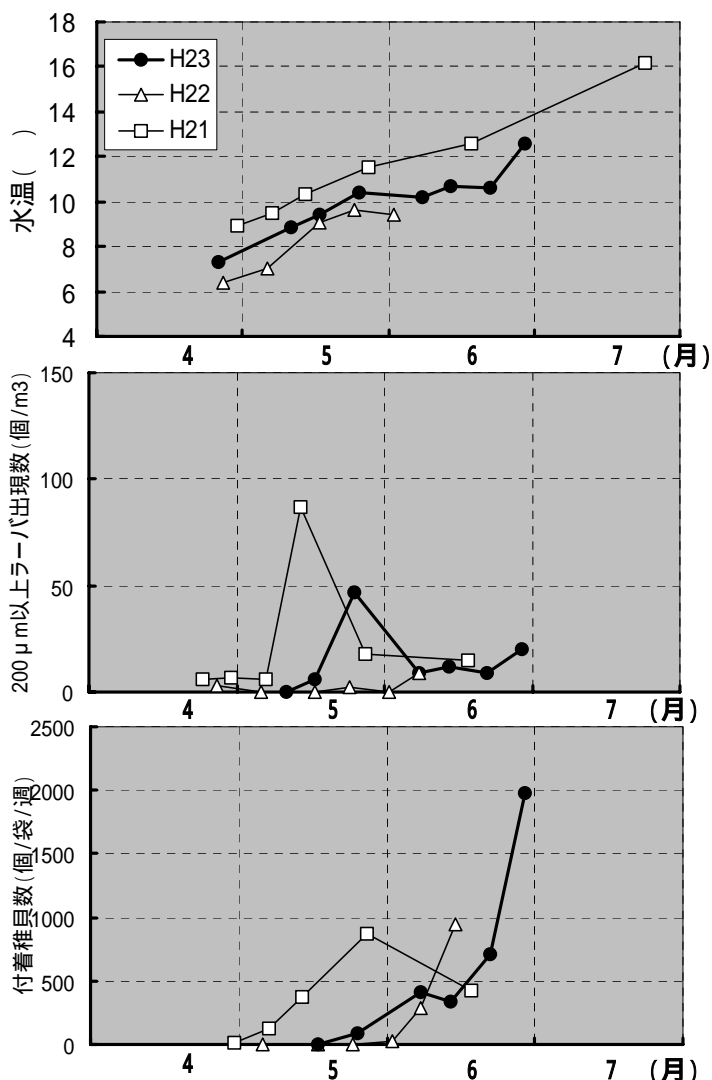


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、7 月 8 日に発行する予定です。